

DPI北海道ブロック会議 御中

質 問 書

○質問書に関するお問い合わせ及びご回答 (FAXまたはe-mail) は下記までお願いいたします。

DPI (障害者インターナショナル) 北海道ブロック会議

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1.2丁目1-55 ほくろうビル5F

TEL: 011-219-5687 FAX: 011-219-5688

e-mail: info_hokkaido@dpi-japan.org <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>

1. 今回、廃案となった「障害者自立支援法案」を厚生労働省は、臨時国会で、再提案すると明言していますが、採決の際にあなたは、賛成しますか、反対しますか。

- ① 賛成する
- ② 反対する
- ③ 修正が行われれば賛成する →その場合の修正内容

「応益負担」を「応能負担」とすべきであると考える。
 また、障害ある方の所得補償や雇用対策もしっかりと確保しなければならぬ。

2. 「障害者自立支援法案」の最大の焦点となった「応益負担 (定率負担)」について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

障害ある方は、所得環境が非常に厳しいため、
 不合理な負担を強いるべきでは無いと考える。

3. 自立支援法案では、障害程度区分の判定により、介護やグループホーム、日中活動の場など、利用できるサービスの種類や量が制約される可能性があります。その点についてどのようにお考えですか

- ① 財源不足であるため制約するべきである・制約はやむを得ない
- ② 制約を行うことには反対
- ③ その他 →その内容、特に考えておられる内容

障害の程度に関わらず、サービスを受けられるようにすべきである。



4 自立支援法案では、精神障害者通院医療費公費負担制度、更生医療及び育成医療への利用者負担の導入について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

障害ある者の厳しい所得環境を十分に踏まえたうえで、継続的な医療を受けねことが必要のように対応すべきである
と考える。

5. 小泉首相は来年度予算の概算要求基準について、社会保障費を2200億円圧縮するよう財務大臣に指示を出しました。あなたは社会保障費の圧縮について、どのようにお考えですか。また、社会保障の財源をどこに求めるべきとお考えですか。

- ① 構造改革路線に基づき圧縮すべきである・圧縮はやむを得ない
- ② 増額すべきである
- ③ その他 →その内容

障害者福祉を旨の、国民の安全、安心な生活を確保する
ために、年金、医療、社会福祉等の社会保険費をしっかりと確保すべきである。

社会保障費の財源として、今考えているもの

国や地方の行政組織と見直し、「新しい国のカタチ」をつくり
そのコスト効率を図ることにより、財源を生み出すように
したい。

ご協力、どうもありがとうございました。

ご氏名

金田 英行

選挙区

北海道6区

所属

自由民主党